

2018/11/11の定期メンテナンスにおける kintone API、Garoon API更新情報 (2018/10/12)

2018年11月11日の定期メンテナンスの、kintone API, Garoon API の更新に関する情報をお知らせします。

お知らせの内容に追加、変更等ありましたら、こちらのコメントにて変更箇所を追記します。

また、APIドキュメントには仕様を順次公開していきます。

cybozu.com共通

機能追加

- **OAuth対応 (β)**

cybozu.com共通管理画面上から、OAuthクライアントを追加できる機能が追加されます。概要は次のとおりです。

- OAuth 2.0を使用して、アプリケーションからkintoneやGaroonへのAPIリクエストを承認することができます。
- この機能はcybozu.comのユーザーごとに設定できます。
- クライアントタイプはConfidential Client、グラントタイプはAuthorization Code Grantのみに対応しています。
- この機能はβ版での提供となります。

詳細は「[OAuthクライアントの使用 \(β\)](#)」をご覧ください。

kintone JavaScript API

機能追加

- **モバイル用APIの新規追加**

モバイル用APIに次の関数が追加されます。

- [レコード追加画面の保存成功後のイベント](#)
(mobile.app.record.create.submit.success)
- [レコード編集画面の保存成功後のイベント](#)
(mobile.app.record.edit.submit.success)
- [プロセス管理のアクション実行イベント](#)
(mobile.app.record.detail.process.proceed)

- [グループフィールドの開閉](#) (kintone.mobile.app.record.setGroupFieldOpen)

- **(参考情報) 12月追加**

12月にはモバイル用APIがさらに強化されます。以下はその一部です。

- スペースフィールドの要素を取得
(kintone.mobile.app.record.getSpaceElement)
- アプリID取得 (kintone.mobile.app.getId)
- ルックアップフィールドの参照先のアプリIDを取得する
(kintone.mobile.app.getLookupTargetAppId)

不具合改修

- 「変更箇所を表示する」を押下したときの不具合

- 対象API
 - [グループフィールドの開閉](#) (kintone.app.record.setGroupFieldOpen)
 - [フィールドの非表示](#) (kintone.app.record.setFieldShown)
 - [詳細のフィールド要素を取得](#) (kintone.app.record.getFieldElement)
- 修正内容:
[レコード詳細画面が表示された時のイベント](#) (app.record.detail.show)のコールバック処理で、上記の対象APIののいずれかを使っている時に、レコードの変更履歴より「変更箇所を表示する」または「最初のバージョンの内容を表示する」を選択したとき
 - 修正前:
kintone.app.record.setGroupFieldOpen の場合: エラーが発生し、動作しない
kintone.app.record.setFieldShown の場合: フィールドを不可視にした指定が正しく反映されない
kintone.app.record.getFieldElement の場合: 要素が取得できない (nullが返される)
 - 修正後:
kintone.app.record.setGroupFieldOpen の場合: 正しく動作する
kintone.app.record.setFieldShown の場合: フィールドを不可視にした指定が正しく反映される
kintone.app.record.getFieldElement の場合: 要素が取得できる

Garoon REST API

機能追加

- **REST APIの新規追加**

- 対象API
次のAPIが追加されます。
 - [ユーザー情報の取得](#) GET /base/users
 - [組織の一覧取得](#) GET /base/organizations

- [組織に所属するユーザーの取得](#) GET /base/organizations/{id}/users
 - ※ 以上のユーザー・組織に関するAPIでは、User APIとは別の、GaroonのIDが取得できます。
 - [空き予定検索](#) POST /schedule/searchAvailableTimes
 - [施設グループに所属する施設の一覧取得](#) GET /schedule/facilityGroups/{id}/facilities
 - [施設グループの一覧取得](#) GET /schedule/facilityGroups
 - [施設の一覧取得](#) GET /schedule/facilities
 - [通知の取得](#) GET /notification/items
 - [通知の登録](#) POST /notification/items
- **スケジュール更新APIの対応フィールド追加**
 - [予定の更新](#) PATCH schedule/events/{id} で以下のフィールドに対応します。
 - companyInfo
 - useAttendanceCheck
 - watchers : "PRIVATE" と"SET_PRIVATE_WATCHERS"を新たに指定可能
 - visibilityType : "SET_PRIVATE_WATCHERS"の場合に、"watchers"を指定可能